

1. 補助事業名

特別電源所在県科学技術振興事業補助事業

2. 補助事業の事業主体

福井県

3. 補助事業の実施場所

| | |
|-------------------|--------------------|
| 福井県衛生環境研究センター | (福井市原目町39-4) |
| 福井県工業技術センター | (福井市川合鷺塚町61字北稲田10) |
| 福井県食品加工研究所 | (坂井市丸岡町坪ノ内1-1-1) |
| 福井県農業試験場 | (福井市寮町辺操52-21) |
| 福井県畜産試験場 | (坂井市三国町平山68-34) |
| 福井県水産試験場 | (敦賀市浦底23-1) |
| 福井県総合グリーンセンター | (坂井市丸岡町楽間15) |
| 福井県建設技術研究センター | (福井市春日3丁目303) |
| 福井県若狭湾エネルギー研究センター | (敦賀市長谷64-52-1) |

4. 補助事業の概要

福井県の科学技術振興に資する研究開発や研究基盤の整備を図ることを目的に、公設試験研究機関の研究を推進するために必要な機器の整備・維持および試験研究事業を実施した。平成29年度は整備事業として43事業、試験研究事業として55事業を実施。

5. 補助事業に要した経費及び補助金充当額

イ 補助金事業に要した経費 660,126,698円

ロ 補助金充当額

656,949,587円

6. 補助事業の成果及び評価

本補助事業により、県内公設試験研究機関等が実施する科学技術の振興に資する研究に必要な機器の整備・維持および試験研究を効果的に推進することができ、特別電源が所在する地域を含む県内全域の科学技術の振興に大きく貢献することができた。

具体的には、本補助事業の成果として、若狭湾エネルギー研究センターの生物分野においては、生物試料から抽出したDNAまたはRNAの確認および記録のためにゲル解析装置を整備した。また、加速器を用いたイオンビーム育種技術を利用した理化学研究所と共同研究について、本年度よりDNA修復阻害剤を利用する突然変異誘発促進技術の開発を開始するとともに、真菌類を用いた免疫賦活剤の開発に関する研究を実施した。医療分野においては、本年度から陽子線治療とX線治療の長所を組み合わせた新しいがん治療法を確立するための研究を開始した。材料分野においては、金属めっきの密着性向上に関する研究等を実施した。また、事業の成果として県内企業および大学等3社（県内2社、県外1社）との共同研究を実施し、機能性食品への展開や電子部品の基板技術への展開に向けた取組みを行うなど、本県の科学技術の振興に大きく寄与した。

また、工業技術センターにおいて、「新巻線モータの開発」事業では本県が開発した独自の巻線加工技術（Fβ巻線技術）を活用したモータ用コイル加工技術開発およびモータ試作評価を行った。「プリントドエレクトロニクス技術を応用したスマートファイバーの開発」事業では導電性インクを用いて布上に印刷しセンサーを実装したスマートテキスタイルの試作開発を行った。これらの技術蓄積や知見を活かして、地域企業への技術指導や地域企業との共同研究等による成果公表、技術移転を進め、研究開発した技術について地域産業での活用を始めるなど科学技術の振興に寄与することができた。

なお、県内各公設試験研究機関においては、それぞれ研究課題に対する評価を行っている。工業技術センターでは本補助事業を活用した試験研究も含め、当該施設で実施している研究課題すべてについて、県民や産業界等の社会的、経済的ニーズや政策的ニーズに対応しているか等について評価を行った。平成29年度は、いずれの試験研究についても県の産業の振興発展に寄与する注力すべき課題であり、研究開発は効率的かつ効果的に実施されているとともに、特許申請や研究成果の産業界への技術移転も積極的に行われていると評価された。